

令和4年度 事業計画

1, 基本方針

人生100年時代に高齢者から若者まで、全ての国民に活躍の場が有り、全ての人が元気に活躍し続けられる社会、安心して暮らすことの出来る社会を作る事が重要な課題となっています。^{※1}

高年齢者が地域で就業できる場を拡大してきたシルバー人材センター（以下『センター』という）は、多様な就業ニーズに応じて、就業機会を確保しておりますが、その土俵にあって国の定年延長による雇用確保の政策は、単に高年齢労働者を企業側が雇用し続けるものとなり、センターの入会促進や会員拡大の足かせとなっています。

新型コロナ感染症が疲弊した社会を作り、通常の社会に戻るまでは何年かかるか分かりませんが、コロナ禍での事業者への援助・支援金の支出や経済状況の悪化による税収が落ち込んだ現在、いよいよ令和5年10月よりインボイス制度が実施されることになりました。^{※2} この税制改革により、ますますセンターは収益悪化の一因となりそうです。

インボイス制度導入により、センターは国に会員の消費税分をまとめて納めなければならない事業者となり、事務費をさらに上げざるをえない事態になりそうです。また、毎年見直される最低賃金の上昇、発注者様の負担も増えれば、当然受注が減少する事態も想定しなければなりません。

時代が求めている就業ニーズをさらに開拓していく必要があります。一人でも多くの会員が元気に活躍できるように、会員の質の向上を図るべく教育訓練や講習会を実施し、各関連機関と連携してセンターの基本理念『自主』『自立』『共働』『共助』の理念の下、令和4年度の事業を推進してまいります。^{※3}

※1 人生100年時代構想会議中間報告（厚労省）

※2 インボイス制度とは・・・『適格請求書等保存方式』のことをいう。
詳細については別紙を参照下さい。

※3 令和4年度の目標は3か年中期事業計画を令和4年2月4日
第4回理事会にて承認、目標を修正致しました。

令和4年度 目標

●会員数	510名
●入会率	3.0%
●就業率	85%
●就業延人員	46,000人日
●受注件数	4,200件
●契約金額（請負）	290,000千円
○契約金額（派遣）	42,000千円

中期3か年事業計画IV期3年目

2, 重点事項

- (1) 感染症対策を第一とした就業開拓提供事業の充実
- (2) 感染症対策を第一とした普及啓発事業の促進
- (3) 感染症対策を第一とした安全・適正就業推進事業の安全基準遵守
- (4) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業（派遣事業）、総合事業の推進
- (5) 相互扶助等事業の実施

3, 重点事項に基づく事業実施計画

- (1) 感染症対策を第一とした就業開拓提供事業の充実
 - ①中期3ヶ年事業計画（第IV期）の見直しと推進（3年目）
 - ②就業機会の開拓と充実（新規就業先情報の収集）
 - ③請負・委任契約・一般労働者派遣事業の充実
 - ④総合事業（介護予防）の推進
 - ⑤仕事の平等・公平な配分会議の実施
 - ⑥学童事業の推進
- (2) 感染症対策を第一とした普及啓発事業の促進
 - ①年1回の広報誌発刊
 - ②パンフレットの配付・PR活動の強化
 - ③デジタル活用支援推進事業の推進
 - ④会員の入会促進と女性会員の拡大
 - ⑤市報への掲載
 - ⑥普及啓発月間でのボランティア参加促進
- (3) 感染症対策を第一とした安全・適正就業推進事業の徹底
 - ①安全講習会の実施への参加促進
 - ②センター『安全の日』（11月21日）講習会の実施への参加促進
 - ③機械メンテナンス講習会の実施への参加促進
 - ④ローテーションによる適正就業の強化
 - ⑤新人研修・接遇研修・教育訓練などの実施
 - ⑥新規入会者の安全教育・安全基準の遵守
 - ⑦安全保護具の会員補助に関すること
- (4) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業（派遣事業）、総合事業の推進
 - ①派遣事業の拡大・推進
 - ②市と連動した総合事業の取り扱い
- (5) 相互扶助等事業の実施
 - ①永年のシルバー人材センター事業貢献者の表彰